

栃木県産業技術センター運営計画の見直しについて

平成 31(2019)年 3 月 22 日

栃木県産業技術センター

平成 30 年度は計画期間の中間年度にあたることから、社会経済情勢の変化等を踏まえ、次のとおり計画内容の見直しを行った。

1 見直し内容

(1) 社会情勢の変化を踏まえた見直し

最近のものづくり企業を取り巻く社会情勢では情報通信分野の変化が目覚しく、特に、IoT 関連市場の伸びが顕著であり、「モノ」をインターネットにつなぐための IoT デバイス数は運営計画策定時 (H27(2015)年度、約 153 億個) から 2020 年には倍増 (300 億個) することが予測されている^{※1}。このような IoT デバイスの急速な普及を背景に、ものづくり企業で製造現場への IoT 導入の機運が高まっている。

また、栃木県では、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等の利活用を促進するために栃木県 IoT 推進ラボ (経済産業省及び IoT 推進ラボから「地方版 IoT 推進ラボ」[地域における IoT プロジェクト創出のための取組]に選定) を平成 30(2018)年 9 月に設置した。

産業技術センターにおいては、これらの状況を踏まえ、運営計画の 2 組織運営 (2) 注力技術 <<ICT や新たな成長分野への対応>> ア「デジタルものづくり技術」に「IoT」に関する記述を加え、ものづくり企業の IoT 化を推進していくこととする。

※1 総務省 平成 29 年版情報通信白書

(2) 目標項目の進捗を踏まえた見直し

平成 31 年度中に目標値 (累積) 達成が見込める目標項目「ペーパーレスニュース配信 (回)」について、H31,H32 の目安値を週 1 回配信 (50 回/年) に見直し、H28-H32 の目標値 (累積) を上方修正 (200 → 280) する。

目標項目		H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H28-H32 (2016-2020) 目標値 (累積)
ペーパー レス	目安値 見直し前	40	40	40	40	40	200
	見直し後				50	50	280 [※]
ニュース 配信 (回)	実績値、達成状況 []: 予測値	48 	73 	[59]			

※ 見直し後の目標値 = H28-29 実績値 + H30 予測値 + H31-H32 見直し後目安値

[運営計画の進捗状況の管理・評価の結果について【平成 29\(2017\)】](#)

2 適用時期

平成 31(2019)年 3 月

[産業技術センター運営計画【平成 31\(2019\)年 3 月一部改訂】](#)

